

水道管の破裂事故に注意

毎年冬には、町内の多くの家庭で、水道管の凍結や破裂、漏水が発生しています。気温がマイナス4度以下になると、水道管凍結の危険性が増しますので、早めの対策をお願いします。

●水道メーターから最も遠い水道の蛇口から少しずつ水を出す(図1)

図1

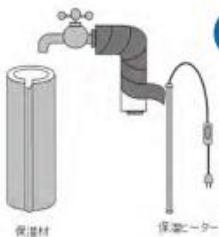
水道管全体の水が少しずつ動くので、凍結の予防ができます。出し過ぎると、水道料金が高額になるので注意が必要です。



●屋外配管は保温材で巻く(図2)

図2

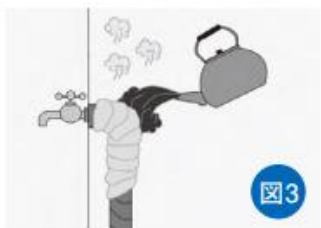
建物の北側や風当たりの強い場所などにある水道管は凍結しやすいです。布などを巻きつけて保温し、その上をビニールなどの水を通さない材料で完全に覆うか、保温材や保温ヒーターなどで防寒対策をお願いします。



●水道管が凍結したり「ぬるま湯」でゆつくり温める(図3)

凍結した管の外側を布などで覆って、「ぬるま湯」をゆつくりかけてください。熱湯をかけると破損する恐れがあります。また、直接火で温める行為は火災の原因になるので、絶対にしないでください。

図3



●長期間、家を留守にするときは

(図4)

止水栓を閉めて、家の中の水道の蛇口を1カ所開けると、凍結を予防できます。止水栓は時計回りに回すと閉まります。

図4



●漏水が疑われるときは(図5)

屋内外の全ての蛇口を閉めた状態で、水道メーターのパイロット(銀色のコマ)が回転しているときは、漏水の可能性

性があります。



図5

●水道メーターや立水栓はいつでも確認できる状態に

水道メーターの近くに棒などを立てておくと、雪が積もっても位置が分かりやすくなります。また、立水栓が雪に埋まっていると、漏水に気づきません。こまめな雪かきをお願いします。

●地域でも確認を

地域の中に留守宅がある場合は、声を掛け合って、止水栓が閉まっていることを確認してください。

●漏水を修理するときは

水道メーターより宅内側は、個人管理部分となります。水道管の漏水や破裂を見つけたときは、止水栓を閉めて水を止め、指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。